

上島町

2月2日
～3月11日

ふるさとCM大賞えひめ 上島町作品「ご飯だけもって…」 3年目で念願の大賞受賞！

2月17日、愛媛県県民文化会館において、愛媛朝日テレビ主催の「第3回ふるさとCM大賞えひめ」の審査会が行われました。上島町からは、青いレモンの新鮮さをコミカルに表現した「ママにも、やさしい」と、島の魅力を存分にPRした「ご飯だけもって…」の2作品を出品。当日は、県内20市町から多数のCMが出品され、1次審査を突破した33作品が次々と各市町のPRとあわせて発表されました。上島町も出演者らがパラグライダーによるデモンストレーションや特産品のレモンをふるまい、町の魅力を存分にPRしました。

結果発表では各賞が発表され次々と他の市町名が呼ばれる中、残すは大賞発表のみとなり「今年もダメか」と落胆しかけていたその時、審査委員長の天野祐吉さんから、「大賞はチーム上島“ご飯だけもって…”」の声にスタッフ・出演者一同、歓喜がわきました。

3年目にしてみ事、念願の大賞を受賞。愛媛県の頂点に立つ栄誉をつかみとることができました。

本作品は、大賞受賞の副賞として愛媛朝日テレビにおいて、4月から9月にかけて200回CM放送されます。

※町民のみなさま！今後も上島町をPRする良いCMアイデアがありましたら、是非ご提案ください。



CMのデモンストレーション！



審査結果を待つスタッフ



見事、大賞受賞！



記念撮影！

弓削商船高等専門学校 県知事にプロコン等の受賞報告！

2月20日、弓削商船高等専門学校の落合校長を始め学生・教職員ら16名が、加戸知事にプログラミングコンテスト（プロコン）等の受賞報告をするため、愛媛県庁を訪問しました。

受賞報告では昨年10月に「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」において2部門で文部科学大臣賞を受賞したこと、また今年1月にIT技術に取り組む優秀な若者を表彰する「BCN ITジュニア賞2008」、「2007キャンパスベンチャーグランプリ」で奨励賞を受賞したことを報告しました。

知事から「おめでとうございます。今後、益々の活躍を期待します」と激励を受け、最後に全員で記念撮影を行いました。



知事との記念撮影の様子

～海上自衛隊 掃海艇 ゆげしま～ 2年ぶりに弓削港へ寄港

3月1日、海上自衛隊函館基地隊第45掃海隊所属の掃海艇「ゆげしま」が弓削港に入港しました。入港式では、弓削保育所園児からの花束贈呈や上島町の特産品贈呈が行われ、第45掃海隊小松司令からの謝辞が述べられました。また、掃海艇での起床や食事の時間を知らせるラッパの吹奏披露や子どもたちへプレゼントが贈られました。

その後、行われた掃海艇の一般公開には住民約250名が訪れ、ゆげしま隊員による機雷除去装置等の説明や、ゆげしまカレーが振舞われました。



入港する“ゆげしま”



機関銃操作を体験



園児による花束贈呈



ラッパの吹奏披露

希望の島フォーラム ～ボクらの地域の未来はボクらが創る～

2月16日、せとうち交流館において、「希望の島フォーラム ～ボクらの地域の未来はボクらが創る～」と題した地域づくりフォーラムが行われ、町内外から約200名が参加しました。

このフォーラムは地域の中で生き、地域の元氣と誇りを受け継いでいくことに目を向け、地域の元氣を掘り起こすことを趣旨に(財)松下政経塾・えひめ地域づくり研究会の主催により開催されました。

最初に東京大学大学院 神野直彦教授が「地域と人間の回復」と題して基調講演が行われ、続いて伊予市双海町出身で国土交通省認定「観光カリスマ」である若松進一さんが「笑いの夕日寄席」として、合併前の旧双海町での町おこしの体験をユーモアたっぷりに話していました。

その後、松下政経塾の兼頭一司さんが上島での活動レポートを発表。

休憩時間には、おいでんさいグループ調理の摘み菜料理が参加者にもてなされました。

休憩後、「ぼくらの考える島の未来」と題してトークセッションが行われ、島の昔の生活や遊び等について弓削島の子どもたちの活動紹介があり、コメンテーターから今後の地域や子どもたちに期待する意見や助言が出されていました。



若松進一さんの寄席！



トークセッションの様子！

菅原保健師長 日本公衆衛生協会会長表彰受賞！

2月6日、群馬県前橋市民文化会館において上島町の菅原保健師長が平成19年度(財)日本公衆衛生協会会長表彰を受賞しました。

この表彰は長年にわたり公衆衛生事業に寄与したことによるものです。

“今後とも公衆衛生活動に精進したいと思います。ありがとうございました。”



弓削高校3年生卒業記念植樹！

2月14日、法王ヶ原において、弓削高校3年生による卒業記念植樹が行われ、弓削高校3年生28名・教職員6名・NPO法人グリーンキャンドゥーの会員が参加しました。

この植樹は、地域の資源である法王ヶ原の松を後世に残すグリーンキャンドゥーの活動と弓削高校3年生の卒業記念活動を合わせて行われたもので、環境省から交付された抵抗性マツ「スーパーグリーンさつま」の苗木が植樹されました。

※抵抗性マツは松食い虫に強い品種で、環境省からグリーンキャンドゥーに100本の苗木が交付され、今回の卒業記念に39本、弓削中学校少年式記念で20本、会員で41本がそれぞれ植樹されました。



植樹をする弓削校生徒！

瀬戸内しまなみ大学 上島町弓削校 しまなみ人養成講座開催！

2月9日、せとうち交流館において「瀬戸内しまなみ大学 上島町弓削校 しまなみ人養成講座」が開催され、町内外から約60名が参加しました。

この「瀬戸内しまなみ大学」は、瀬戸内で育まれた歴史、文化、自然をテーマに、しまなみ海道の魅力を学び、体験できる講座として“瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会”の主催で行われており、今回は上島町での開催となりました。

講演会では、愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長の村上恭通教授が「上島町の歴史 海とのかかわり」と題してスクリーンを使って説明。

村上教授は考古学的な見地から上島町の歴史や歴史遺産の特徴などを説明。豊島明神遺跡や魚島・大木遺跡を題材に塩づくりと祭祀の関わりについて今後もじっくり調べて行きたいと述べていました。



村上教授！



講演会の様子！

惜別の思いを胸に60年の歴史に幕を閉じる！ ～島の学舎！岩城分校閉校式～

3月2日、岩城島開発センターにおいて伯方高校岩城分校第58回卒業証書授与式と閉校式が挙行されました。当日は卒業生5名をはじめ、同窓生・学校関係者や地域の方々など約120名が出席しました。

式では武内校長から「よく頑張りました」と一人一人に卒業証書が手渡され、来賓の方々からも、はなむけの言葉が贈られました。続いて卒業生代表の奥村美幸さんが「最後の卒業生として誇りを持ち、岩城分校で学んだことを支えに頑張っていきます。」と惜別のことばを述べました。

閉校式も併せて行われ、同窓生代表の河野美穂さんが涙を浮かべながら分校での思い出と閉校の悲しみを話されました。また、学校の歴史を綴ったスライド上映では、会場のあちこちからすすり泣く声が多く聞かれました。

続いて校旗が、卒業生から校長へ、校長から愛媛県教育委員会の野本教育長へと返納されました。

最後に、卒業生一人一人の言葉が教員から紹介される中、卒業生5名は希望を胸に式場を後にし、岩城分校最後の卒業証書授与式が惜しまれつつ修了しました。



岩城分校最後の卒業生5名



卒業生代表奥村さんの
惜別のことば



武内校長から野本教育長へ
岩城分校校旗が返納される！



チャイム代わりに
使われていた鐘！



スライド上映で過去の
卒業写真を紹介！

※岩城分校の歩み

昭和23年9月…弓削高校の分校（夜間定時制）として設立認可。

昭和25年3月…第1回卒業証書授与式挙行。

昭和25年4月…女子昼間部付設。

昭和32年4月…今治西高校の分校へ所属変更。

昭和33年4月…伯方高校の分校へ所属変更。

昭和58年4月…新校舎へ移転。共学の昼間定時制となる。

平成20年3月…旧校舎跡地で最後の卒業証書授与式並びに閉校式挙行。

すくすくと大きくなーれ 新生児誕生記念樹贈呈！

3月11日、町内4地区において、平成18年10月1日から平成19年9月30日に誕生した新生児を対象に、誕生の記念に、上島町及び因島ライオンズクラブから町花のサクラとクロガネモチの苗木が贈呈されました。

今年は、弓削地区14人、生名地区6人、岩城地区17人、魚島地区1人の総勢38人でした。

この苗木に負けないようにすくすくと健やかに成長してください。

おめでとう
ございました。



記念樹贈呈の様子

上島町出身者 スポーツ大賞受賞！

村上幸史さん(生名出身) 濱元一馬さん(弓削出身)

3月6日、松山市のダイキ(株)本社において大亀財団スポーツ賞の表彰式が行われ、上島町出身の村上幸史さんと濱元一馬さんがスポーツ大賞を受賞しました。この、大亀財団スポーツ賞は県内スポーツの活性化に功績のあった選手や指導者をたたえるもので、1団体12個人が受賞。村上さんは、陸上男子やり投げで日本選手権8連覇、国体6度目の優勝を果たした功績。濱元さんは、村上選手をはじめとする全国トップクラスの選手を数多く育てた功績がそれぞれ認められ、栄えある受賞となりました。

村上さん・濱元さん
おめでとうございます。
上島町代表として
今後、益々のご活躍を
お祈りいたします。



大亀理事長から表彰される村上選手

弓削校魂を胸に28名が旅立つ！ 弓削高等学校卒業証書授与式

3月1日、弓削高等学校において、平成19年度卒業証書授与式が挙行政され、28名が卒業を迎えました。

武内校長から一人一人に卒業証書が手渡され、校長式辞に続き、上村町長とPTA会長の山上氏から心温まる言葉が贈られました。その後、在校生代表による送辞に続き、卒業生代表の加登圭吾さんが高校生活を振り返りながら答辞を述べました。

最後に、高校生活最後の校歌を歌い上げ、在校生の歌と保護者等の温かい拍手の中、母校を旅立ちました。



加登圭吾さんによる答辞



最後のホームルームの様子

弓削地区

B & G ゆげ海洋クラブ 「スキーツアーin大佐」

2月23日、B & G ゆげ海洋クラブは広島県の大佐スキー場で冬の活動としてスキーを行いました。

今年はクラブ員と保護者合わせて26名が参加し、真っ白なゲレンデでスキーやスノーボードを行い、普段上島町では味わうことの出来ない雪山を思う存分、楽しみました。



参加者全員で記念撮影！

自らの命は自ら守る！ ～岩城防災講演会～

3月2日、岩城生活文化センターにおいて防災講演会が開催され、約200人の町民が参加しました。

阪神淡路大震災を実際に経験した皆元さんの講話では、被災者の人間心理や助け合いの尊さ、被災時の対処法など体験談をもとに話されました。



皆元さんの講話！



危機管理監の講話！

続いて愛媛県危機管理監から、東南海・南海地震は一定周期で必ず発生することが述べられ、上島町でも甚大な被害が予想され、どう対応するか、家具の転倒防止や被災時に使えなくなる電気製品などを例に説明があり、“まずは、家に帰って直ぐに出来ることから実施してほしい”と日頃からの備えの大切さを呼びかけていました。

また、消防長の閉会挨拶では今日の講演を礎に地域の方々が自助・共助の精神を強く持ち、地域の防災力向上へ向けた自主防災組織の結成へ繋げてほしいと協力を呼びかけました。



小学生をはじめ多くの住民が参加！

弓削・生名中学校生徒が対面式！ ～4月からの学校生活が楽しみ～

3月4日、弓削中学校において生名中学校1・2年生と弓削中学校1・2年生による対面式が行われました。

この対面式は4月からの統合を目前に控え、生徒たちのとまどいや不安を解消することを目的にゲームなどのレクリエーションを通じて交流が図られました。

各校生徒の感想発表では「4月からの学校生活が楽しみ」、「最初は緊張したが、楽しく交流ができた」などの声がありました。

最後に、弓削中生徒会長の星野さんと生名中生徒会長代理の上村さんが握手をして対面式は終了しました。



ゲームを楽しむ生徒たち！

ふれあい体感で満足顔！ ～親子お楽しみ会～

3月4日、せとうち交流館多目的ホールにおいて弓削保育所園児と保護者による「親子お楽しみ会」が開催されました。親子ミニ運動会では変身ショー・電車リレーなどの競技を行いました。いっぱい体を動かした後のお弁当はおいしかったですよ。

食後の映写会は良い子守唄になったのかスヤスヤと眠る園児がいましたが、親子で楽しく過ごす一日となりました。



お母さんたちの変身ショーに見入る園児！

～親子でコミュニケーション～ 魚島地区子育て講座

2月2日、魚島開発総合センターで魚島地区子育て講座（第4回）が行われました。今回は親子で体を使ってコミュニケーションを図ってもらおうと、保育士の指導の下、体をほぐす体操やじゃんけん遊びなどをしました。また、フラフープをうまく回せるかチャレンジしました。



親子でフラフープ競争！

最後にはお母さんとの競争もあり、子どもたちは大はしゃぎでした。

終わりには、普段の保育の様子を撮影したビデオの鑑賞会も行われ、参加者は子どもたちの成長した様子に見入っていました。今日は普段の仕事や家事で忙しい時間を忘れ、リラックスして子どもとの時間を楽しんでいたようです。



～弓削小3年生ふるさと学習～ 地域の特産「弓削海苔」の加工場見学

2月22日弓削小学校の3年生が、ふるさとの特産品を学ぼうと「弓削海苔」の見学を行いました。

まず、海苔工場でどのようにして加工されているかを見学し、出来立ての海苔を試食しました。



漁協の北浜さんへ質問する児童！

次に、児童から「弓削でたくさん海苔が作られているのはどうしてですか？」「海苔を作るのに一番大事な作業は何ですか？」などの質問があり、漁協の北浜さんが1つ1つ丁寧に答えると熱心にノートに書きとめていました。

最後に、海苔の養殖場が見える場所から海苔の刈り取り風景を見学しました。



海苔の刈り取り風景を見学する児童！

魚島地区

魚島保育所「お別れ会」

2月26日、魚島保育所において、「お別れ会」を行いました。親子で手打ちうどん作りに挑戦した後、ゲームをするなど思い出に残る一日となりました。

うどん作りでは、慣れない包丁に苦労しましたが、本場のさぬきうどんに負けないほどのコシがあり、食事時には「美味しい」を連発していました。



“美味しいの笑顔”



うどんふみに挑戦！

生名地区

～食育教室 ぱくぱく・きっず～
ホットケーキ作りに挑戦

2月27日、生名保育所では食育教室「ぱくぱく・きっず」を実施しました。今回は1年間の締めくくりとして、年長・年中児がホットケーキ作りに挑戦。材料を一生懸命混ぜ、一人ひとりケーキを焼き、デコレーションすると「本物のケーキみたい!」と大喜び。ふんわり甘いケーキの焼ける匂いをかぎながら、子どもたちは家でお手伝いしていることや、お母さんの手料理の話などをスタッフにいろいろ教えてくれました。



材料を混ぜる園児!



春の香り、イチゴを使ったお菓子づくり

3月1日、魚島公民館講座「春の香り・イチゴを使ったお菓子づくり」が行われました。講師の東 喜美子先生にイチゴのショートケーキとカスタードプディングの作り方を習いました。ケーキ初挑戦の参加者もいて、うまく焼けるかどうか不安そうでしたが、とてもキレイに焼けていました。自分たちでデコレーションも行い、イチゴのたくさんのったケーキが出来上がりました。

出来上がった後は、みんなで試食会。甘い香りいっぱいのケーキとプリンに自然と笑顔がこぼれていました。参加者からは「思ったより簡単だったので、自宅でもぜひ挑戦してみよう」という声があがっていました。



東さん(中央)の指導を受ける参加者!



イチゴショート完成!

岩城保育所食育教室
食器の配膳図を描きました!

2月25日、岩城保育所において、すみれ組(年長組)を対象に食育教室が行われました。

1年間みんなで食の体験や勉強した事のまとめとして、食器の配膳図の絵を描きました。「元気の素の黄色は主食。お茶碗はどこに描いたらいいのかな?赤は主菜。お肉にしようかな、お魚にしようかな、それとも卵?」とそれぞれオリジナルの絵が仕上がりました。今回の活動を食育教室のまとめとして、ランチョンマットに加工しプレゼントしますね!

今後、家庭でも子どもの食に対する関心や興味を引き出し、本来持っている主体性が育つことを願っています。



配膳図を持ってハイポーズ!

岩城地区

大熱戦も最後はチームワークの勝利!
岩城レクリエーションバレーボール大会

2月10日、第3回岩城レクリエーションバレーボール大会が長江体育館、岩城開発センターの両会場で行われました。今年は、2チーム増え、総勢15チームで熱戦が繰り広げられました。

緊張の中、組み合わせ抽選が行われた後、チェンリーグ・決勝トーナメントと駒を進めた結果、実力チームが順当に勝ち上がり、イッケ、マドンナ、ラビゴン20、鉄人28による準決勝となりました。

どこのチームが勝ってもおかしくない大接戦となりましたが、最後は、粘りを見せたイッケチームがマドンナチームを振り切り、2年連続優勝を果たしました。

日頃の練習の成果がものになった優勝劇でした。



連覇を果たした、イッケスペシャル!